



たくよう

令和元年 8月

No.79

夏号

障害者支援施設
就労継続支援B型事業所
相談支援事業所
介護サービス包括型
共同生活援助事業所

新葉学園
しんよう
第1拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会

薩摩川内市樋脇町塔之原 4020

TEL: 0996-37-2861 FAX: 0996-37-2981

<http://takuyoukai.w.kobira.co.jp/>



▲第2ホーム



▲第3ホーム



▲第1ホーム

「豊かな暮らしを地域の中で」

グループホームの機能強化を目指す

総務課長 内匠敏行

私たち拓洋会には現在、樋脇町内に四か所のグループホームがあり、三十六名の方々が利用されています。当法人のグループホームは、平成三年七月に当時福祉工場従業員の住まいの場として開設して以来、地域の中で活力ある暮らしの実現を目指し、就労・生活両面から長年サポートして参りました。そして昨今、国の施策に於いても地域における暮らしの場として、高齢化・重度化に対応したグループホームの機能強化が示され、これは当法人としても全く例外ではなく、早急な対応が求められています。

そこで今年四月から、当法人のグループホームも従来の外部サービス利用型から介護サービス包括型へと移行しました。新たに生活支援員や看護師を配置し、職員の勤務形態も見直した上で手厚い支援体制を整え、利用者の満足度アップに日々取り組んでいます。今回、体制を見直す中で、現在グループホームを利用されている方々へ「どの様な暮らしがしたいか・・・」一人ひとりの思いに耳を傾けました。するとその中で食事や入浴時間など若い方・高齢な方・男性・女性、其々の生活スタイルがあり、先ずは個々の希望に対して柔軟に対応出来るよう日課の見直しを行いました。その結果、多くの方々から「とても生活し易くなった。」「自分のペースでゆっくりと生活出来るようになった。」「等の声があり、そんな一言に私たち職員は癒され日々の仕事にやりがいを見出しています。

私たち拓洋会は、今後も段階的にグループホームの機能強化を図り、住み慣れた地域の中で一人ひとりが願う暮らしに寄り添いながら、常に質の高い福祉サービスの提供に拘り、これからも拓洋会職員持ち前のチームワークを生かし全力で取り組んで参りますので宜しくお願いします。

4/27

知的障害者関係施設親善球技大会

利用者 湯本 活貴さん

去る四月二十七日に、桜島で行われた球技大会のグラウンドゴルフに参加しました。私は学園チームで参加し、二試合して見事優勝し九州大会に出場できる事になりました。他のチームも二位、三位と独占でした。他の利用者さんとの親睦を深めることができ楽しい大会となりました。九州大会(長崎)でも優勝できるようにがんばります。



▲雄大な桜島をバックに記念撮影!



▲あと少し!みんな見守る中での一打

利用者 芝 久美子さん

四月二十七日、施設親善球技大会に参加しソフトバレーボールに出て優勝しました。嬉しいでした。又、九州大会にも行けるので楽しみです。友達にも会えて嬉しかったです。来年もソフトバレーボールに出て優勝したいです。



▲優勝が決まり嬉しさ爆発!



▲優勝・2位・3位独占!有終の美

係長兼生活支援員

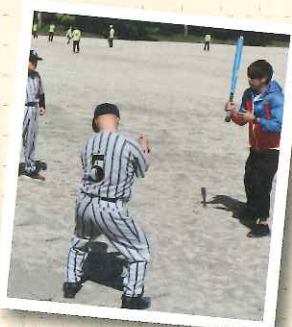
山下 昌平

平成最後の知的障害関係施設親善球技大会が去る四月二十七日(土)に素晴らしい天候のもと桜島町の溶岩グラウンドと補助体育館で開催された。今回も学園からはティーボールとソフトバレーボール、グラウンドゴルフの各競技に出場した。

ティーボールは選手が少ない中健闘したが惜しくも予選で敗退し残念ながら決勝トーナメントに勝ち上がる事はできなかった。選手の皆さん方は来年のリベンジを誓っていた。またソフトバレーボールは今年から九州大会があるという事で選手の方々は限られた時間の中で一生懸命練習され、結果優勝する事ができ九州大会への切符を手に入れる事ができた。またグラウンドゴルフは今年も四チーム出場し二十九チーム中、新葉学園チームは一位、二位



▲ナイス!フィールディング



▲試合前。バッティングフォームの確認中

三位を独占し今年も昨年に続き九州大会行きを手にする事ができた。練習はわずか二回しかできず、少し不安があつたが選手の皆さん方は自分達の力を十分発揮され、結果に繋がった事で大変嬉しそつであつた。また来年こそは三競技全てにおいて優勝を目指して日々の練習に励んでいきたいと思う。

第13回 鹿児島県障害者 スポーツ大会

5/12



▲選手宣誓!



看護師 堀之内 弥生

快晴の空の下、障害者スポーツ大会が開かれました。私自身始めて参加させて頂きいつもとは違った利用者さんの表情をみる事ができました。皆さん一生懸命取り組まれ、金メダルを嬉しそうに私に見せにこられていました。このような機会に参加させていただきありがとうございます。



▲飛んでけ～

利用者 梶 章剛さん



▲天高く!

白波スタジアムで県スポーツ大会の陸上競技がありました。自分は、立ち幅跳びで銀メダルを獲りとても嬉しかったです。お父さんとお母さんが応援に来てくれたので頑張れました。来年は、五十メートル走で頑張りたいです。

利用者 上妻 利江子さん

五月十二日、鴨池陸上競技場で、私はソフトボール投げに出ました。一位でした。嬉しいでした。

来年もソフトボール投げに出たいと思います。今年は練習が足りなかつたので、来年は他の施設に負けないように、まだまだボール投げを頑張りたいと思っています。

6/8

全国障害者スポーツ大会九州ブロック地区予選会(バレーボール競技)

利用者

村岡 智恵さん



障害者スポーツ大会九州ブロック地区予選が桜島で開催され、バレーボールで出場しました。まず宮崎県と試合をしてストレートで勝ちました。次の福岡県との試合は一セットは勝ちましたが、二セット・三セットは点数をとったり、とりかえされたりしました。鹿児島県チームは何人が足がつる人もいて結局負けてしまいました。優勝したら茨城県での全国大会でしたが、それに行けないのが残念でした。来年また頑張ります。

利用者

敷根 美保さん



六月八日に九州ブロック地区予選が桜島で開催されました。一回戦は宮崎県と対戦してストレートで勝ちましたが、二回戦は福岡県にフルセットのすえ負けてしまいました。全国大会に行くことができなくてとてもよかったです。

二〇二〇年は、九州ブロック予選に勝って全国大会に出場できるように頑張ります。

7 / 12

第14回薩摩川内市 ふれあい障害者福祉大会

利用者 小澤 陽子さん



▲練習の成果を出せますように

利用者 正岡 和成さん

七月十二日、第十四回薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会に参加しました。午前中文化行事がありました。僕も心踊俱樂部で二曲披露しました。他の施設の出し物を見ました。他の施設の人もみんな上手にしていました。午後からは、参加者全員でラジオ体操をした後、レクリエーションを行いました。玉入れ、パン食い競争、綱引き等もありました。自分も玉入れに参加しました。他の施設の中に知っている人がいて皆で話をしていました。楽しい一日を過ごしました。



▲力を合わせて引っ張りました

七月十二日、薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会がサンアリーナさんで行われ私は、心踊俱樂部の踊りで参加しました。一曲目はちよつとミスしてしまっただけ後は日頃の練習通りに上手く踊れたと思います。午後の部はスポーツレクリエーションで玉入れに出て、勝ち負け関係なく、他の施設の方々と楽しく交流を深める事が出来てとても良かったです。

生活支援員 西 裕之

去る七月十二日、第十四回薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会が盛大に開催された。当日の流れとして二部構成で行われ、午前の部は文化行事、午後の部はスポーツ・レクリエーション行事がそれぞれ行われた。午前の部の文化行事では、当学園の心踊俱樂部のメンバー、利用者二十三名・職員六名、計二十九名が踊りを披露した。演技者は堂々と演技し、演技終了後には皆自信に満ち溢れた表情であった。昼食を挟んだ午後からの部のスポーツ・レクリエーション行事では当施設からも多数の利用者が参加し、真剣な表情で楽しそうに競技された。この日一日を通して常日頃接している利用者の方々の違う一面を垣間見た気がした。今後も利用者・職員一丸となって色々なことに挑戦して頑張っていきたい。



Boon Boon Festa!! 2019

6 / 22

利用者 久米 一沙さん

六月二十二日に鹿児島市民文化ホールで施設文化祭がありました。最初にリハーサルがありました。リハーサルの後、職員から「みんな笑顔があった方がいいよ」と言われました。自分達の出番の前には他の施設の演技を見る事も出来ました。本番では、緊張せず笑顔で楽しく踊る事が出来ました。係以外の職員も見に来て下さって「良かったよ」と言って下さいました。本当に楽しい一日でした。



▲いっぱい練習しました



▲難しい踊りも完璧



▲この表情輝いている

食中毒研修報告



栄養士 三輪 優子

去る七月十六日に、川薩地区集
団給食施設連絡協議会の社会福祉
部会及び病院・産業部会合同研修
会に出席した。

今回は川薩保健所の富野先生に
よる「食品の取り扱いと衛生管理
について」の講話であった。

平成三十年は全国で食中毒事
故が1330件、患者数は1万
7282人にも及んだ。しかし、報
告されていない「隠れた食中毒が
たくさんある」と説明があった。

また、病因物質別にみるとアニ
サキスの発生件数が一番多い結果
であった。アニサキスは鯖などの
内臓に寄生し、生きたまま食べる
と激しい腹痛に襲われる。予防法
は①新鮮な魚を選び、速やかに内
臓を取り除く②魚の内臓を生で食
べない③目視で確認して、アニサ
キスの幼虫を除去する④冷凍する

(20℃で24時間以上) ⑤加熱する
(70℃以上、または60℃なら1分)

である。アニサキスはなかなか噛
みちぎれるものではないので、魚
をよく噛んで食べるといのは予
防法にはならない。

どの食中毒菌にも「**つけない**」「**増
やさない**」「**やっつける**」が食中毒
予防の原則である。

① つけない

- ・ 生魚、生肉を切ったまな板や
包丁は使用の都度きれいに洗
い、殺菌する。

- ・ 加熱食品と非加熱食品の取扱
いを分ける。

- ・ 十分な手洗いと消毒。

② 増やさない

- ・ 食品の購入後はすぐに冷蔵庫
に入れ、菌の増殖を遅らせる。

③ やっつける

- ・ 肉や魚、野菜なども中心までよ
く加熱する。(中心部を75℃で
1分以上加熱することが目安)
- ・ 調理器具も食中毒菌が付着する
ので、洗浄と殺菌を忘れずに。

夏はバーベキューなど、野外で
食中毒が起こりやすい時期である。
食中毒予防を忘れずに、楽しく夏
を過ごしたいものである。

総合防災訓練



▲消火訓練開始!!

利用者 川元 初博さん

一しゅうかん前にくん
れんをしよういんからた
のまれました。

まずはしようかきのつ
かいかたをしようぼう
しよのしよういんの方に
おしえてもらいました。

ぶじに火をけすことが
できました。



▲消火器の使用説明中



▲水消火器にて訓練

准看護師兼生活支援員
郡山 豊美

六月十九日に防災訓練
に参加し、実際に消火器
取扱い訓練を行いました。

炎を目の当たりにすると、
炎の勢いと熱さに一瞬た
じろぎました。風向きが
変わるのので、どの場所か
ら消火を行えばよいか迷
いました。

消防士の方より指導を
受け、無事に消火するこ
とができました。

今回の訓練を活かし緊
急時にも焦らず落ち着い
て行動し、利用者の方々が
無事に避難できるように
心掛けたいです。



▲全員揃いました。

思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



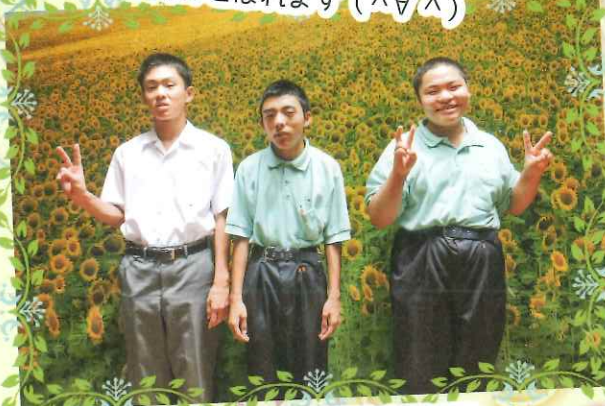
☆新商品☆(左) さつま芋あんパン
(中) ごぼう明太パン (右) 抹茶小豆あんパン



山崎小学校パン作り体験活動p.(^^) q
我が子の真剣な姿にお母さん達も
笑みがこぼれます(^^)(^^)



第1回家族会



串木野養護学校実習受入



毎回大好評のパンバイキング!!
みんな大喜び(^^v^^)



樋脇小学校6年生施設見学



白ゆり児童クラブパン作り体験★
皆さん上手に出来ました(^^u^^)



非常食を入替え購入しました。

社会福祉法人拓洋会 平成30年度決算報告書

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	法人全体	勘定科目	法人全体	
資産の部		負債の部		
流動資産	188,441,132	流動負債	68,190,971	
固定資産	基本財産	853,400,666	固定負債	326,499,784
	その他の固定資産	318,890,916	負債の部合計	394,690,755
資産の部合計	1,360,732,714	純資産の部		
		基本金	225,633,000	
		国庫補助金等特別積立金	317,095,176	
		その他の積立金	201,600,000	
		次期繰越活動増減差額	221,713,783	
		純資産の部合計	966,041,959	
		負債及び純資産の部合計	1,360,732,714	

事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日 (単位：円)

勘定科目	法人全体
サービス活動収益計①	381,022,025
サービス活動費用計②	355,572,791
サービス活動増減差額③=①-②	25,449,234
サービス活動外収益計④	12,460,618
サービス活動外費用計⑤	4,541,872
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	7,918,746
経常増減差額⑦=③+⑥	33,367,980
特別収益計⑧	4,580
特別費用計⑨	3
特別増減差額⑩=⑧-⑨	4,577
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	33,372,557
前期繰越活動増減差額⑫	234,841,226
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	268,213,783
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	0
その他の積立金積立額⑯	46,500,000
次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	221,713,783

資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日 (単位：円)

勘定科目	法人全体
事業活動収入計①	393,482,643
事業活動支出計②	331,229,733
事業活動資金収支差額③=①-②	62,252,910
施設整備等収入計④	170,000,000
施設整備等支出計⑤	178,637,640
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-8,637,640
その他の活動収入計⑦	2,034,304
その他の活動支出計⑧	49,070,625
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-47,036,321
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	6,578,949
前期末支払資金残高⑪	143,242,131
当期末支払資金残高⑫=⑩+⑪	149,821,080

公用車紹介

この度、グループホーム用に車両を購入しました。主に利用者様の受診や送迎等に活用していきたいと思えます。



令和元年度施設内研修

第二回

令和元年 七月三十日(火)

テーマ「エネルギー講座」

講師

川内原子力総合事務所

立地地域G： 課長 濱崎様

副長 坂本様

川内営業所

営業G： 課長 脇野様

担当 永松様・大塚様



もったいない運動の取り組み

生活支援員 田代 義信

七月一日(月)～七月三十一日(水)をもったいない運動月間として取り組んだ。数年前の台風災害の時は、当学園でもライフラインが機能せず、一週間の停電を経験し大変な思いをした。また、近年では温室効果ガス(二酸化炭素・フロン類等)の濃度が増えた事により地球温暖化が深刻な問題として懸念される。そうした事を踏まえ、この時期は冷房を使用する機会も増え、電気消費量が多くなる事からエアコンの適切な温度設定やエコドライブの徹底等を通してエネルギー・CO2削減に努める事であった。少しでも無駄を省く意識付けが出来たらと思いい、今後も継続して取り組んでいきたい。



県中小企業団体表彰

主任生活支援員 松林 鉄志

この度、鹿児島県パン工業組合の推薦を頂き、鹿児島県中小企業団体中央会会長様より永年勤続表彰を授与されました。これもひとえに皆様方のお力添えがあったからこそと感謝しております。これからも利用者の方々と共に、安心・安全で美味しいパン作りに精進してまいりますので今後ともよろしくお願ひします。



退職者

生活支援員 徳永 淳子
(5月末)

退園者

田原 理恵子さん(4月26日)
下荒磯 知佳さん(6月20日)

◆今後のスケジュールのお知らせ◆

- 8月22日 映画上映会 新葉学園(無料) 13:30~
- 9月12日 新葉学園 体育館 竣工式
- 9月25日 第28回北薩地区ふれあいスポーツ大会(阿久根総合体育館)
- 10月26日 しんよう秋まつり(新葉学園)
- 12月14日 第2回家族会・クリスマス会

※利用者一泊旅行については、スケジュール調整中

編集後記

平成が幕を閉じ、新たな時代『令和』を迎え早三ヶ月が過ぎ、今ではすっかり令和が馴染んできているように感じるこの頃。月日の経つのが早く、慌ただしく毎日を過ごしておりますが、一日一日を大切にしながらそれぞれの行事に取り組み、皆さんの笑顔をお届け出来る様これからも編集委員一丸となって、より良い紙面作りを目指していきたいと思ひます。

(小川)

【令和元年度
広報委員会】
利用者 川元 初博さん
職員 山崎ますえさん

藤崎 照矢
小川 淳
乙須 恒平
池田 俊彦
三輪 優子
角 直子
藏前 美樹

